

当院の在宅介護支援センターは2つの看板があります。1つ目は1998年に開設した在宅介護支援センター、2つ目は2000年の介護保険創設と同時に開設した居宅介護支援事業所です。在宅介護支援センターは津市からの委託事業として地域の高齢者等に特に独居の方や寝たきり等の介護が必要な方に社会福祉士の資格を持つた担当者が総合相談にのっています。居宅介護支援事業所は介護支援専門員が介護認定を受けられた方のご相談にのり、ご利用者やご家族のご意向やご状態に合わせてサービスの調整、支援を行っています。

津市の人口は27万1096人（令和4年10月1日時点）であり、令和4年度の高齢化率は29・8%で全国の29・0%より0・8%高くなっています。要介護認定者は65歳以上で21・5%となっており、全国が19・1%なので少し高い数字となっています。この数字から見ると65歳以上の5人に1人は在宅または施設にて介護保険を利用していると推測されます。

現在、介護支援専門員を3人配置し、約130件を担当しています。介護保険のケアプラン（居宅サービス計画書）を作成し利用者宅を訪問したり、地域の住民の方や地域包括支援センター、民生委員の方からの相談、院内の医療ソーシャルワーカー等からの相談にのっています。

### 知って得 医療・介護

藤田医科大学七栗記念病院  
社会福祉士  
介護支援専門員  
中西 幸喜



### 23 地域の介護を必要とする方に寄り添う

ためには普段から医療機関や地域包括支援センター、医療ソーシャルワーカー、民生委員等との連携は欠かせません。また成年後見制度や虐待問題、認知症対応等にも取り組んでおります。

現時点でも、独居や高齢化は問題となっており、創設者藤田啓介先生のご遺志を引き継ぎ、地域の皆様に寄り添って、介護に関するご相談に対応させていただきます。それにより、住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けられるように支援させていただきます。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。